

日出町告示第106号

平成27年第4回日出町議会定例会を次のとおり招集する

平成27年11月24日

日出町長 工藤 義見

1 期 日 平成27年12月3日

2 場 所 日出町議会議事堂

○開会日に応招した議員

岡山 栄蔵君	阿部 真二君
上野 満君	金元 正生君
川西 求一君	岩尾 幸六君
土田 亮治君	池田 淳子君
工藤 健次君	安部 三郎君
森 昭人君	白水 昭義君
佐藤 隆信君	佐藤 二郎君
熊谷 健作君	

○12月7日に応招した議員

○12月8日に応招した議員

○12月18日に応招した議員

○応招しなかった議員

なし

平成27年 第4回(定例)日出町議会会議録(第1日)

平成27年12月3日(木曜日)

議事日程(第1号)

平成27年12月3日 午前10時00分開会

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

日程第6 承認第5号 平成27年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算(専決第1号)について

日程第7 議案第65号 平成27年度日出町一般会計補正予算(第3号)について

日程第8 議案第66号 平成27年度日出町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

日程第9 議案第67号 平成27年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について

日程第10 議案第68号 平成27年度日出町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

日程第11 議案第69号 平成27年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

日程第12 議案第70号 日出町営駐車場の設置及び管理に関する条例の制定について

日程第13 議案第71号 日出町自転車の放置の防止に関する条例の制定について

日程第14 議案第72号 日出町税条例等の一部改正について

日程第15 議案第73号 日出町国民健康保険税条例の一部改正について

日程第16 議案第74号 幼稚園の設置に関する条例の一部改正について

日程第17 議案第75号 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について

日程第18 議案第76号 日出町重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部改正に

ついて

- 日程第19 議案第77号 災害被害者に対する町税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正について
- 日程第20 議案第78号 日出町介護保険条例の一部改正について
- 日程第21 議案第79号 日出町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
- 日程第22 議案第80号 日出町住民基本台帳カードの利用に関する条例の廃止について
- 日程第23 議案第81号 工事委託に関する協定の締結について
- 日程第24 同意第2号 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 提案理由の説明
- 散会の宣告
-

本日の会議に付した事件

開会、開議の宣告

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- 日程第4 行政報告
- 日程第5 委員長報告
- 質疑・討論・採決
- 日程第6 承認第5号 平成27年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第1号）について
- 日程第7 議案第65号 平成27年度日出町一般会計補正予算（第3号）について
- 日程第8 議案第66号 平成27年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
- 日程第9 議案第67号 平成27年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について
- 日程第10 議案第68号 平成27年度日出町介護保険特別会計補正予算（第2号）について
- 日程第11 議案第69号 平成27年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

- 日程第12 議案第70号 日出町営駐車場の設置及び管理に関する条例の制定について
- 日程第13 議案第71号 日出町自転車の放置の防止に関する条例の制定について
- 日程第14 議案第72号 日出町税条例等の一部改正について
- 日程第15 議案第73号 日出町国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第16 議案第74号 幼稚園の設置に関する条例の一部改正について
- 日程第17 議案第75号 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
- 日程第18 議案第76号 日出町重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部改正について
- 日程第19 議案第77号 災害被害者に対する町税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正について
- 日程第20 議案第78号 日出町介護保険条例の一部改正について
- 日程第21 議案第79号 日出町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
- 日程第22 議案第80号 日出町住民基本台帳カードの利用に関する条例の廃止について
- 日程第23 議案第81号 工事委託に関する協定の締結について
- 日程第24 同意第2号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

提案理由の説明

散会の宣告

出席議員（15名）

1番	岡山	栄蔵君	2番	阿部	真二君
3番	上野	満君	4番	金元	正生君
5番	川西	求一君	6番	岩尾	幸六君
7番	土田	亮治君	8番	池田	淳子君
9番	工藤	健次君	10番	安部	三郎君
11番	森	昭人君	12番	白水	昭義君
13番	佐藤	隆信君	14番	佐藤	二郎君
16番	熊谷	健作君			

欠席議員（なし）

欠 員 (1名)

事務局出席職員職氏名

局長 小野裕一郎君 次長 安田加津浩君

説明のため出席した者の職氏名

町長	工藤 義見君	副町長	今宮 禮二君
教育長	西野 智行君	会計管理者兼会計課長	...	阿部 孝君
総務課長	村井 栄一君	財政課長	川野 敏治君
政策推進課長	井川 功一君	契約検査室長	佐藤 義人君
税務課長	脇 英訓君	住民課長	佐藤久美子君
福祉対策課長	原田 秀正君	健康増進課長	高倉 伸介君
生活環境課長	佐藤 寛爾君	商工観光課長	河野 晋一君
農林水産課長	岡野 修二君	都市建設課長	村岡 政廣君
上下水道課長	大塚 一路君	農業委員会事務局長	...	宮本 洋二君
教育委員会教育総務課長	...	宇都宮敏樹君	教育委員会学校教育課長	...	恒川 英志君
生涯学習課長兼図書館長	...	野上 悟君	監査事務局長	岩尾 修一君
総務課参事	藤本 英示君	財政課長補佐	帯刀 志朗君

午前10時03分開会

○議長（熊谷 健作君） 皆さん、おはようございます。

開会、開議の宣告

○議長（熊谷 健作君） ただいまの出席議員は15名です。定足数に達していますので、平成27年第4回日出町議会定例会を開会します。

今期定例会に提案されています議案につきましては、後ほど説明がありますが、承認1件、議案17件、同意1件が提出されています。議員各位には慎重に御審議を賜り、適切な議決をいただくとともに、議会運営全般にわたり格別の御配慮と御協力をお願いいたします。

これより本日の会議を開きます。

会議の議事は、お手元に配付しております議事日程により行います。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（熊谷 健作君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

今期定例会の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、3番、上野満君、11番、森昭人君を指名します。

日程第2. 会期の決定

○議長（熊谷 健作君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、先月24日の議会運営委員会において、本日から12月18日までの16日間という案を作成しましたが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は、本日から12月18日までの16日間に決定しました。

日程第3. 諸般の報告

○議長（熊谷 健作君） 日程第3、諸般の報告を行います。

まず最初に、大分県町村議会議長会主催の議員研修会について御報告いたします。

去る11月5日に、玖珠町森自治会館で開催されました議員研修会は、立命館アジア太平洋大学非常勤講師で、玖珠町久留島武彦研究所所長の金成妍氏から、「童話の里玖珠が育んだ久留島武彦」と題して講演がありました。

講演では、「日本のアンデルセン」とたたえられ、口演童話家として右に出る人がいないと言われるほどの話術の達人として有名な久留島武彦の生い立ちやエピソードをスライドを使ってわかりやすく、そして丁寧に解説していただきました。

その後、町内の三島公園内の旧久留島氏庭園や童話碑、わらべの館をボランティアガイドの案内により散策し、さらに豊後森駅に隣接する旧豊後森機関庫を見学しました。夜は4町村の議員が一堂に会して懇親会を行い、大変有意義な研修をすることができました。

以上、甚だ簡単ではございますが、大分県町議会議長会議員研修会の報告といたします。

次に、11月11日に行われました第59回町村議会議長全国大会が渋谷のNHKホールにおいて開催され、県内の町村議長とともに出席しましたので、その概要について報告いたします。

大会は、全国の関係者約1,700人が出席する中、「地方創生の実現をめざして」をメインテーマに開幕し、最初に安倍晋三内閣総理大臣からのメッセージが披露され、続いて来賓の大島理森衆議院議長、山崎正昭参議院議長、土屋正忠総務副大臣、石破茂地方創生担当大臣ほか多数の御祝辞をいただきました。

来賓祝辞の後、主催者を代表して飯田憲明会長の挨拶を受け、議事に入り、東日本大震災からの復興と大規模災害対策の確立に関する特別決議をはじめとする特別決議6件、一般要望25件、各地区要望9件などが提案されました。決議、要望は満場一致で採択されました。

大会終了後、建築家の安藤忠雄氏から、「地方の明日を創る」と題して特別講演があり、充実した大会でありました。

次に、平成27年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の概要について、同組合議会議員、白水昭義君に報告をお願いいたします。12番。

○議員（12番 白水 昭義君） 平成27年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の御報告をいたします。

去る11月13日金曜日に開会されました平成27年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会につきまして、その概要を説明いたします。

別府市議会議事堂におきまして、午前10時から本会議が開催され、今期上程いたしました議案は、平成27年度補正予算並びに平成26年度一般会計及び各特別会計決算の2議案でございます。

まず、議第13号平成27年度別杵速見地域広域市町村圏事務組合介護認定審査会事業特別会計補正予算（第1号）は、今回の補正は介護認定審査会事業ファイリングシステム等借上げ料の債務負担行為設定です。介護認定審査会判定業務を行うためのシステム等賃貸借契約は、今年度末で満了になるのに伴い、平成28年4月1日からの新システムの稼働に向け、必要経費、SE作業等の遅延準備が約3か月必要になりますので、事業者と年度内賃貸借契約を締結するため、本年度から平成32年度までの間、356万4千円を限度額とした債務負担行為を設定するものであります。

総務福祉委員会の審査を経て、全員異議なく原案のとおり可決されました。

次に、議第14号平成26年度別杵速見地域広域市町村圏事務組合一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定については、決算の内容につきましては、一般会計では、予算現額4億8,922万4千円に対して、歳入決算額4億4,133万9,790円、歳出決算額4億4,133万9,790円となっており、歳入歳出差し引き額はゼロ円であり、翌年度へ繰り越す財源はないため実質収支額はゼロ円です。

次に、秋草葬祭場事業特別会計については、予算現額9,230万円に対して、歳入決算額8,518万6,737円、歳出決算額8,518万6,737円となっており、歳入歳出差引額はゼロ円であり、翌年度へ繰り越す財源はないため実質収支額はゼロ円であります。

藤ヶ谷清掃センター事業特別会計については、予算現額15億6,090万6千円に対して、歳入決算額15億1,955万7,248円、歳出決算額15億783万1,248円となってお

り、歳入歳出差し引き額は1,172万6千円であり、翌年度へ繰り越す財源は1,172万6千円であるため、実質収支額はゼロ円であります。

介護認定審査会事業特別会計については、予算現額2,920万円に対して、歳入決算額2,767万3,139円、歳出決算額2,767万3,139円となっており、歳入歳出差し引き額はゼロ円であり、翌年度へ繰り越す財源はないため実質収支額はゼロ円です。

総務、福祉、環境衛生の各委員会審査を経て、賛成多数により原案のとおり可決されました。

以上、平成27年第2回杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の報告といたします。

○議長（熊谷 健作君） 次に、平成27年第2回杵築速見消防組合議会定例会の概要について、同組合議長、安部三郎君に報告をお願いします。10番。

○議員（10番 安部 三郎君） 去る平成27年10月13日、杵築速見消防組合議会の第2回定例会が、杵築市議会議事堂において開催されましたので、その概要を御報告します。

はじめに、議案第4号平成26年度杵築速見消防組合歳入歳出決算についてであります。

歳入総額は13億9,914万6,636円に対しまして、歳出総額13億5,872万2,277円であり、翌年度へ繰り越すべき財源はありませんので、実質収支額は4,042万4,359円の黒字決算となります。慎重審議の結果、全員一致で可決でございます。

次に、議案第5号平成27年度杵築速見消防組合補正予算（第1号）については、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,042万4千円を追加し、予算の総額を8億1,665万1千円とするものです。

補正の主なものは、歳入では、消防費負担金を3千万円の減額と、前年度繰越金4,042万4千円の計上で、歳出では、退職手当積立基金への積立金820万円の計上等で、慎重審議の結果、全員一致で可決いたしました。

次に、議案第6号物品購入契約の締結について、杵築消防署に配備いたします高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材一式の購入について、現在、落札業者の大分トヨタ自動車株式会社杵築店と3,650万4千円で仮契約しているものについて議会の議決を求めるもので、慎重審議の結果、全員一致で可決いたしました。

以上、平成27年度第2回杵築速見消防組合議会定例会の報告といたします。

○議長（熊谷 健作君） 次に、平成27年第2回杵築速見環境浄化組合議会定例会の概要について、同組合議長、工藤健次君に報告をお願いします。9番。

○議員（9番 工藤 健次君） 平成27年第2回杵築速見環境浄化組合議会定例会が11月27日、日出町議会議事堂で開催されましたので、その概要を御報告申し上げます。

本定例会に上程されました案件は、議案1件、認定1件であります。

まず、議案第3号平成27年度杵築速見環境浄化組合会計補正予算（第1号）についてであり

ます。

補正額は748万6千円を増額し、歳入歳出予算の総額を2億6,978万6千円とするものであります。この補正は、施設保全のための工事請負費が主なものであります。

次に、認定第1号平成26年度杵築速見環境浄化組合会計決算の認定についてであります。

歳入決算額1億9,910万200円に対し、歳出決算額1億9,161万2,577円であり、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた実質収支額は748万7,623円で、その金額を翌年度に繰り越すものであります。

また、監査委員から監査結果の審査報告がありました。

以上、上程されました議案1件、認定1件につきまして審議の結果、全員一致で原案のとおり可決いたしました。

以上で、甚だ簡単ですが、杵築速見環境浄化組合議会の報告を終わります。

日程第4. 行政報告

○議長（熊谷 健作君） 日程第4、行政報告を行います。

町長、工藤義見君。町長。

○町長（工藤 義見君） おはようございます。本日、平成27年第4回日出町議会定例会を開催するに当たり御通知申し上げましたところ、議員の皆様には何かと御多用のところ御出席を賜り、御審議いただきますことに対しまして、厚く御礼を申し上げたいと思います。

それでは、行政報告を申し上げます。

最初に、9月12日から14日にかけて実施されました第68回大分県民体育大会についてであります。

大会では、参加した日出町の代表選手が各競技で検討した結果、総合順位第10位、B部第5位に入り、引き続きB部を維持することができました。団体競技では、女子テニス第2位、バドミントン総合、ソフトボール女子等の7競技で第3位の成績をおさめ、個人競技では自転車、ウエイトリフティングでの優勝を初め、多くの選手が上位入賞を果たしました結果でのB部堅持でございました。

来年もB部を確保し、さらに上位への躍進を期待しているところであります。

次に、日出町まち・ひと・しごと創生総合戦略についてであります。

9月末に日出町人口ビジョンにおける分析等をもとに、日出町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定いたしました。これは日出町が今後想定される人口減少、高齢化、少子化などの諸問題に対峙し克服していくために、日出町のまち・ひと・しごと創生に向けた具体的な施策をまとめたものであります。今後は策定された戦略案をもとに、日出町が人口減少を食い止め、将来にわ

たって活力あるまちづくりを実現するための効果的な事業を実施してまいりたいと考えております。

次に、日出町教育大綱についてであります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正がなされ、教育委員会制度が大きく変更されました。新制度での教育長は、首長が任命することになり、旧制度で教育長と教育委員長とに分かれていた権限をあわせ持つようになります。また、全ての地方公共団体に首長と教育委員会で構成される総合教育会議を設置し、その場で協議した教育の目標や施策の根本的な方針等をうたった教育大綱を首長が定めなければならないこととなっております。

日出町では、二度の総合教育会議を開き、十分な論議を尽くした後、日出町教育大綱を10月5日に策定いたしました。目標として掲げた目指すべき将来像として、「郷土の歴史や自然を愛し、学校や家庭・地域において、主体的に学習し、豊かな心と健やかな体、確かな学力・教養を身につける」を掲げ、これらを達成するために3つの基本方針を定め、それぞれの主な取り組みを実践することで地域を担い、地域を支える人材を育成していくこととなります。

次に、豊岡地区婦人会創立70周年記念式典についてであります。

10月15日、別府湾ロイヤルホテルで豊岡地区婦人会創立70周年記念式典が開催されました。

豊岡地区婦人は、昭和20年、戦後の混乱の最中に活動を初め、育児、教育や地域の再建活動に尽力していましたが、昭和22年に正式に会として発足いたしました。敬老会の開催や町・県のイベントへの参加などを中心とした奉仕活動に積極的に取り組み、町を代表する婦人会へと発展しました。長年にわたる日出町への貢献に対する感謝と地道な活動への敬意の念を込めて祝意を表した次第であります。

次に、第10回ザビエルの道ウォーキング大会についてであります。

10月18日、秋晴れのもと、第10回ザビエルの道ウォーキング大会が開催されました。約600名の参加者が20キロメートル・10キロメートル・5キロメートルの3つのコースに分かれ、海や山の景観を楽しみながら、ウォーキングで健康的な汗を流しました。

今年は、マラソン選手で元日本記録保持者の山本佳子さんをゲストにお招きして、歩くときのコツや注意点の説明やストレッチの指導をしていただきました。参加した皆さんはゴール後に振る舞われた豚汁を食べて疲れを癒されておりました。来年も今年以上の参加者がふえ、盛大な大会になることを期待いたしております。

次に、2015ひじ文化まつりについてであります。

10月31日から11月8日にかけて、中央公民館を中心に2015ひじ文化まつりが開催されました。開会式では、日出町の芸術文化に尽力された方へ日出町文化芸能表彰を、文化芸能部

門で貢献のあった学生2名に日出町子ども文化芸術奨励賞が授与されました。今年はお笑い文化がコンセプトになっており、記念講演では漫才や落語を多くの方々が楽しんでおられました。

続いて、滝廉太郎記念音楽会では、ゆかりの曲を町内の各団体が歌唱発表した後、日本の第一線で活躍する演奏家たちによる演奏を堪能していただきました。また、今年交流広場HiCaLiの一部展示会場として使用され、絵画・書道・工芸等の展示では、大変多くの方々が御来場下さり、バラエティーに富んだ作品を鑑賞されていました。今後も文化協会の御協力をいただきながら、この文化まつりがより充実したものになることを期待しております。

次に、町内一斉津波避難訓練についてであります。

11月1日に日出町内一斉で津波避難訓練を実施いたしました。本年3月に10年ぶりに大規模な総合防災訓練を実施した経過もあり、今回は若干参加数が少なく、全地区での半分に当たる38区が訓練に参加しました。避難訓練に合わせ、防災講話、炊き出し訓練、消火訓練、資機材使用訓練を実施した区も幾つかありました。訓練後には防災上での課題や町への要望を出していただきましたので、町ではそれらの反省点や御意見を参考にして検証を行い、来年度以降の防災訓練が、よりよい訓練となるように取り組んでいきたいと考えております。

次に、日出町功労者表彰式についてであります。

文化の日の11月3日、役場の大会議室におきまして、日出町功労者表彰式を行いました。今年地方自治、農業振興、交通安全、商工振興等の8部門において、個人11名と3団体の方へ表彰状と記念品をお送りし、それぞれの分野での献身的な活動と調整の推進に御貢献いただいた方々の御功績に対しまして、経緯と感謝の意を表し、これまでの功績をたたえた次第であります。

次に、全国町村長大会についてであります。

11月18日、東京代々木のNHKホールにおいて、全国町村長大会が開催され、これに参加いたしましたので御報告させていただきます。

本大会は、全国928の町村長と都道府県町村会関係者及び来賓の萩生田光一内閣官房副長官、大島理森衆議院議長、山崎正昭参議院議長、高市早苗総務大臣、石破茂地方創生担当大臣、谷垣禎一自由民主党幹事長など、関係者1,300余名が参加して開催されました。

はじめに、藤原忠彦全国町村会長が挨拶に立ち、地方創生元年を迎え、全国の町村では人口ビジョンと地方版総合戦略の策定に向けて取り組んでいるところであり、各町村長も政府と十分連携し、地域の実情に応じて全力でこの課題に取り組んでいくことになる。町村が自主性、自立性を発揮して、さまざまな施策を実施していくためには、国に対して、まち・ひと・しごと創生事業費の拡充や地方交付税が確保されるよう強く求めていきたい。今後とも町村長相互の連携を一層強固なものとし、当面する困難な課題に積極果敢に取り組んでいこうなどと参加者に呼びかけたところでもあります。

会長挨拶の後、萩生田光一内閣官房副長官から、第3次安倍改造内閣は一億総活躍社会の実現に向けて、少子高齢化の問題に真正面から立ち向かい、50年後も人口1億人を維持することを明確な国家目標と掲げている。政府としては、町村がそれぞれの特徴を生かして活力ある地域づくりができるよう、28年度予算において新型交付金を創設し、地方版総合戦略の実施を強力に支援し、意欲ある地方の創生、創意工夫を全力で応援していくと挨拶されました。

議事では、町村を取り巻く諸問題解決に向けた決議案が原案どおり承認され、環太平洋パートナーシップ協定に関する特別決議案及び大会要望について満場一致で決議され、閉会をいたしました。

本大会に参加して、町村の果たすべき役割の重要性を認識し、国と各町村とが連携をとりながら、独自性のある施策を実施していく必要があることを強く再認識した次第であります。

なお、大会終了後、参議院議員会館、衆議院議員会館に県出身の国会議員を個別にお訪ねし、大会決議事項や要望事項をお伝えして理解を求めたところでございます。

以上、甚だ簡単ではありますが、行政報告とさせていただきます。——訂正させていただきます。衆議院議長、参議院議長、それぞれ読み違ったようで、大変失礼しました。

○議長（熊谷 健作君） 行政報告が終わりました。

地方自治法第121条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めましたので、御報告します。

日程第5. 委員長報告

○議長（熊谷 健作君） 日程第5、委員長報告を行います。

平成27年第3回定例会において、閉会中の審査に付された所管事務調査などの結果について報告を求めます。総務産業常任委員会委員長 土田亮治君。7番。

○総務産業常任委員長（土田 亮治君） それでは、総務産業常任委員会の閉会中に行いました視察研修、所管各課の事務調査及び現地調査並びに町民との意見交換会について御報告をいたします。

当委員会は、10月14日から16日の3日間、秋田県へ行政視察を行いました。1日目の北秋田市役所では、農業振興、6次産業について研修をさせていただきました。長崎副議長の歓迎挨拶の後、まず副議長が代表を務める農事組合法人坊沢営農組合の集落に活力を生み出す6次産業の取り組みについて説明を受けました。

この地域は、8割が山林、農林業が中心で、平成19年に6集落を一本化し、法人化されましたが、兼業者が多く、高齢化で担い手の確保が課題であったとのことでした。経営面積は26年度実績で主食用米46ヘクタール、飼料用米20ヘクタール、大豆10ヘクタールの計76ヘク

タールということでした。生産された大豆を利用し、組合で1日300丁の豆腐の製造販売と、弁当宅配を行っていました。

経営状況は1億円超の収入ですが、実際は助成金、補助金がないとやっていけない。また、冬場は雪のため農業ができないので、今後は通年経営ができるよう花卉や野菜に取り組みたいとのことでした。

次に、市役所から車で20分ほど離れた山間部の有限会社栄物産にお邪魔し、藤嶋社長から、会社設立の経緯、加工品の商品説明を受け、施設の見学をさせていただきました。6次産業への取り組みは、規格外農産物がもったいないということで始め、商品になるまで2年かかったそうです。商品化の過程は収穫後に1次加工し、販売量を見据えながら、販売前に商品加工しているとのことでした。現在の売り上げが1億1千万円程度ですが、10年後には10億円を目標にしているそうです。

農業振興については、経営規模、生産品目等の違いはあれ、日出町も北秋田市も、どの地域でも後継者問題、補助金問題、行政の指導等、同様の課題があり、地域のリーダーが重要であるということを感じました。

2日目は、羽後町役場で安藤町長、阿部副議長から挨拶を受け、行財政改革について研修を行いました。

羽後町は、秋田県南部に位置した人口1万6千人余りの小さな町で、キャッチフレーズは「緑と踊りと雪の町」です。山林70%、冬は県内屈指の豪雪地帯ですが、多くの観客を動員し、日本三大盆踊りと言われる西馬音内の盆踊りが有名な町です。この町は、国の進める市町村合併には参加せずに自立の町として歩んできました。行財政改革では、支所の廃止、保育所の民営化、人員の削減、学校の統廃合等、いろいろなことに取り組んでいました。支所の廃止では6支所を廃止し、証明書等の発行を郵便局と連携している。保育所の民営化では、8カ所のうち6カ所を民営化、1カ所を廃止し、一般財源1億2千万円の減少。退職者の不補充で平成18年度から22年度の5年間、新規採用をせず、人員削減により人件費7億円減少したとのことでした。

学校の統廃合では、人口の減少もあり、小学校6校を4校に、中学校3校を1校に統廃合し、スクールバスを運行していました。廃校は雇用の拡大、産業の振興、交流人口の拡大等のため、企業に無償貸与、あるいは宿泊施設、地域のコミュニティー施設、福祉施設等に利用しているとのことでした。

その他、公用車の集中管理、秋田県内11町村での電算共同利用、予算書決算書等の自前印刷、遊休財産の処分など、経費の削減、歳入の確保に取り組んでいました。ただ、課題もあり、高齢化による医療費の増大で平成22年度に保険料を約20%引き上げたが、その後2年間、一般会計から国民健康保険事業に繰り出しを行った。下水道加入率も低く、繰り入れが多い。また、自

主財源が少なく、地方交付税に頼るところが多いとのことでした。

なお、詳細につきましては、お配りしている行政視察報告書をごらんいただきたいと思います。
続きまして、10月21日に行いました所管各課の事務調査について御報告をいたします。

事務調査の前に、総務課より、6月23日の職員の飲酒運転について、運転者に停職6か月の懲戒処分が決定したが、同日、依願退職をした旨の報告がありました。

事務調査では、まず財政課を行いました。報告事項は特になく、委員から、川崎工業団地のホックスの操業について質問があり、予定どおり10月1日に操業開始した旨の説明がありました。

続いて、政策推進課より、市町村人口ビジョンの概要について、日出町は2060年人口をマイナス3.6%にとどめるという市町村目標が示されました。大分都市広域圏、平成27年度スケジュール案では、大分市と7市町で10月より首長による推進会議開催の予定が報告されました。また、22年国勢調査によると、日出町において出生時から現在まで居住している人は3,852名、13.57%との説明でした。

次に、総務課から、職員採用試験について、78人の受験者に対し、1次試験合格者は14人とのことでした。また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員会制度が見直され、教育委員長と教育長を統合した新教育長の設置、総合教育会議の設置について説明がありました。ただし、現在は経過措置中のため、任期中は現行制度で行い、任期満了後、委員長を廃止し、議会同意による新教育長へ移行するということです。

次に、税務課は、特に報告事項はなく、委員からは、本年度から改正された空き家の課税について質問がありました。現在は従来どおり空き家の場合、課税は更地の6分の1であるとの回答でした。生活環境課からは、日出川崎地区工場地帯の臭気調査について、本年度調査予定4回のうち2回が終了したとの報告がありましたが、委員から、改善されていない。具体的な改善対策を考え、周辺地域にも広げた調査をするよう意見がありました。

次に、商工観光課からは、9月20日、糸ヶ浜ビーチフェスタ、ビーチバレー全31チーム、ビーチサッカー全19チームでの開催。10月18日、参加594人によるザビエルの道ウォーキング大会の開催、11月14日、オラショ巡礼の道日出町開催、参加募集について説明がありました。また、委員のハモ料理に関する質問に対し、11月の1か月間、JAL国内線ファーストクラス4路線で日出産ハモ料理が採用されることについて説明がありました。

続いて、農林水産課から27年産米の作柄概況は低温寡照のため、平年並みから不良予測であること。TPPの交渉結果、特にコメについての説明と昨年比1千円アップのJA買取価格の報告がありました。

その他、有害鳥獣の捕獲状況について報告がありました。

次に、都市建設課から、暘谷駅周辺の整備状況、進捗状況について報告がありました。

現在、橋間25メートル、総延長33メートルの自由通路がかけられており、全体としては年度内に終了し、附属物及びロータリー等については来年夏ごろまでに完成するとのことでした。

その他、社会資本整備交付金事業として、町道二本榎弥四郎線の道路改良工事、九十歩橋橋梁補修工事、そして町道則次辻の尾線道路改良工事の説明がありました。

上下水道課からは、水道事業給水停止の経過報告があり、上下水道料金3カ月以上滞納者は278件で、全体の1.6%、2,930万6,246円、うち収納金額は12.4%の352万9,353円ということです。現在、停水中は8件で、支払い計画書提出者については、納入状況を把握し、協議確認後、入金がなければ停水措置を随時行うとのことでした。

最後に、農業委員会事務局より、農業委員会法改正による農業委員選出方法の変更等について説明がありました。

改正法の施行は28年4月からで、選挙制度及び議会団体推薦を廃止して、町長の選任制に一本化し、議会の同意が必要となります。定数は現行の半数程度とし、新たに同数程度の農地利用最適化推進委員を設置するとのことでした。現在の農業委員の任期は平成29年7月19日までとなっています。

次に、町民との意見交換会について報告いたします。

総務産業委員会では、議会改革の一環として11月7日土曜日午後6時より、大分県漁協日出支店運営委員と漁協青年部を対象に意見交換会を開催しました。開会挨拶の後、漁協側から要望事項等について説明がありました。大神漁港及び日出港のトイレ設置、水産多面的事業の継続及び小規模保全事業の拡充、船舶係留管理の漁協委託、水質汚濁防止法の緩和、市場のPRと地産地消、カキ洗い機の導入等、多くの意見要望がありましたが、11月17日、委員会及び担当各課と精査し、対応取り組みについて漁協に回答書を送付する予定でございます。

要望事項等につきましては、管轄外の事案、調査確認をしなければならない事案等あるため、今後再度精査し、委員会として町執行部へ提案していきたいと思っております。

続いて、11月9日に行いましたサンリオキャラクター利活用事業の取り組みと現地調査について報告いたします。

サンリオキャラクターの利活用事業では、商工観光課からキャッチフレーズ案や具体的な事業案について説明がありました。新暘谷駅完成に伴った事業展開等、地方創生事業の中で予算化を検討中とのことでした。

現地調査では、まず大神真那井漁港のしゅんせつ予定地の視察を行いました。当日は干潮の時間帯に合わず見づらかったのですが、砂で堆積が港内のほとんどで確認されるとのことでした。

委員からは、しゅんせつしてもイタチごっこでは根本的な解決にならない。専門家に依頼して

潮の流れ等を調査し、具体的な対策を考えたほうがいいのかという意見がありました。

次に、糸ヶ浜公園パークゴルフ場の工事進捗状況を視察しました。Aコース9ホール、約4千平米については、既に造成が終わり、Bコース9ホール、約5千平米の造成に入っている。Aコースは今年度中に芝生の植えつけを行い、来年度のオープンを考えているとのことでした。

また、日出川崎地区工場地帯の臭気問題に関する視察をしました。当日は特に臭気はありませんでしたが、今後2回の調査結果を十分に分析し、最良の対策をとるよう担当課に要望しました。

その他、漁港との意見交換会で要望のありました大神漁港、日出港のトイレの状況について、現地視察を行いました。

以上、閉会中の総務産業常任委員会の報告といたします。

○議長（熊谷 健作君） 次に、福祉文教常任委員会委員長 川西求一君。5番。

○福祉文教常任委員長（川西 求一君） 福祉文教常任委員会は、閉会中に所管事務調査及び行政視察研修並びに関係団体との意見交換会を行いましたので、ここに御報告をいたします。

当委員会は、10月21日に、委員全員出席のもと、町長を初め、教育長ほか、所管各課長の出席を求め、学校給食センターの運営並びに所管各課の事務調査を行いました。

学校給食センターの運営については、平成25年度より、調理配送について民間委託での運営を行っており、平成26年度決算における運営費の対24年度予算比較については、約100万円の減額となっています。効果額においては、さほどの差異はないものの、専門業者における安全安心安定した配給がなされており、利用者満足度においても高評価であるとの報告が担当者よりなされました。

子供たちが給食時に残す残菜量についても、平成25年度1日平均86.9キログラム、平成26年度73.0キログラム、平成27年度9月までの平均59.9キログラムと、毎年改善の方向であるとの報告です。また、野菜等の地場産物の積極的使用についての地産地消の現状は41%であることから、委員より、市場状況など複雑な要因は考えられるが、目標値に向けて、より一層の努力を行ってほしいとの意見がなされました。

また、給食費の未納額については、前年度対比では28%減となっているものの、公平性の観点からも、学校給食運営委員会等、内部でしっかり議論し、対処するよう求めました。

なお、執行部より、学校給食センターの運営の民間委託契約が本年をもって終了することから、次期契約については需用費等を含み5カ年として契約をしたい旨の報告がありました。当案件については、案件提出時に詳細説明を受け、審議を行うことといたしました。委員よりの給食センターの改築計画の進捗状況の質問に対しては、建設候補地等の検討など、中期財政計画上において予定としている今年度の整備計画策定に向けて協議を行っているとの回答でした。

次に、教育総務課より、本年4月より施行された教育委員会制度の改正や、それに伴う総合教

育会議の開催を通して、町長が定める日出町教育大綱並びに日出町教育委員会により定められた日出町教育振興計画の提示と説明がなされました。これらの対象期間は、平成27年度から平成29年度までの3年間としており、教育を取り巻く環境の変化や施策の進展状況などを踏まえ、適宜見直しを行っていくものです。このような新制度のもとで、これまで以上に町長と教育委員会との連携強化が求められていると言えます。

委員からは、教育大綱は首長がこれを定めるとある中で、これまでの教育のように、特に政治的中立性が保たれることを望むとの意見が出されました。

次に、学校教育課より、日出町教育委員会からのアピールと題して、教職員のあり方や学校・家庭・地域が一体となった教育の推進として、コミュニティスクールの全校指定による地域や家庭教育力の活力、活用など、特色ある取り組みが紹介されました。

次に、生涯学習課より、こころのプロジェクト「夢の教室」について説明がありました。この取り組みは、各スポーツ界で活躍したトップアスリートにより、実技や講義により、子供たちへ夢を与えるものです。今回対象児童は、町内小学校5年生278名であり、バレー、サッカー、陸上、水球などの種目により行うとのことでした。

委員からの、夢の教室としては、スポーツ部門のみのようにあるが、その他独自の取り組みについては考えていますかとの意見があり、それらについては、2年から3年をめどに変化を持たせて考えていきたいとの担当者の回答でした。

また、町立図書館の利用状況については、開館から3カ月で来館者数3万5,820人、貸出冊数3万9,993冊であり、26年度利用実績にした場合、貸出冊数で約2.5倍となっており、来館者5万人達成には記念行事を行いたいとの報告を受けました。

次に、福祉対策課より、保育支給認定状況と交流広場HiCaLi託児事業実績について説明がありました。

委員より、交流広場における託児事業は、他の自治体等に事例のない先駆的な取り組みとのことであり、今後もニーズの拡大が予想されますが、受託者についてはかなりの負担が考えられることから、業務実態に応じた委託等考慮する必要があるのではないかと意見が出されました。

次に、健康増進課より、認知症ケアパスダイジェスト版の作成配付について、またその内容についての説明がありました。

認知症ケアパスとは、認知症高齢者やその家族が、認知症と疑われる症状が発生した場合に、いつどこでどのような医療や介護サービスを受けることができるかをまとめたものです。認知症に対する知識や理解度を高め、制度の周知等を行っていくには、今後ますます行政の積極的な関与が望まれるところです。

続きまして、当委員会は10月28日から10月30日まで行政視察研修を行いましたので、

その概要を御報告いたします。

なお、視察研修の詳細につきましては、お手元に資料を配付してありますので、そちらも御参照ください。

研修内容につきましては、子育て支援について、「子どもを産みたい、育てたいまち」を目指した取り組みを行っております兵庫県南あわじ市へ、そして町立図書館の運営について先駆的な取り組みを行っている奈良県三郷町へ参りました。

南あわじ市は、合併により平成17年1月11日に誕生した淡路島の南部に位置する面積229.01平方キロメートルの市です。神戸市からは60キロメートル圏内、大阪市から80キロメートル圏内にあり、市の中央を走る神戸淡路鳴門自動車道によって、明石海峡大橋、大鳴門橋により京阪神や四国と結ばれており、インフラ整備がなされた大変便利な立地条件の人口4万9,544人——27年4月1日基本台帳数字です——の市です。しかしながら、このような好立地ゆえに合併以前から続く人口流出による人口減少に対する対策が最大の課題として求められていたと言われます。

少子化対策、定住対策として、若者の出会いをサポートすることから始まり、結婚、出産、子育て支援と、ライフサイクルに合わせた複合的、総合的な支援の取り組みが中長期的な施策として行われていることにより、合計特殊出生率が1.71と上昇した要因となっていると思われま

す。全国に先駆けて実施しております保育料第2子以降の無料化や中学校までの医療費無料化を初め、自宅で保育する家庭への子育て応援優待カード事業など、大変参考となる事業でした。

また、定住対策として、居住地から通勤通学を奨励する補助制度などは都市近郊の地方都市が抱える課題対策としても本町も共有できるものであると感じました。

次に、町立図書館の運営について視察を行いました奈良県三郷町は、奈良県の西北部生駒郡の西南部に位置し、奈良盆地を東西に望んでおり、奈良市内まで25キロ、大阪市内まで34キロ、JR大和路線で約20分という好条件で、早くから宅地開発が進み、大阪のベッドタウンとして人口が急増した町です。人口は、本年5月1日、推計で2万3,505人であり、面積は8.78平方キロと、人口密度の非常に高い町です。古来よりたくさんの歴史的遺産が豊かで緑と調和している町です。

三郷町立図書館は、平成10年に開館し、以来、平成24年4月には子どもの読書活動優秀実践図書館として、文部科学大臣賞を受賞し、平成25年8月には来館者400万人を突破し、現在約24万冊の蔵書数を有する図書館です。図書館施設規模は、鉄筋コンクリートづくり一部鉄骨づくり3階建てで、総延べ床面積5,075.90平米で、図書部分では約2千平米と、本町が多少広がっています。当図書館の特色は、奈良県だけでなく、近畿2府4県及び三重県、福井

県の一部の90%以上の府縣市町村史を収集し、当町とゆかりのある個人2氏からの寄贈による記念文庫も持ち、また視聴覚としてCD等の貸し出し等も行っています。運営方針は、町民の生涯学習の基盤施設としてニーズに応えるよう、住民の求める情報を可能な限り提供できる情報発信基地として位置づけているとのことです。現在の貸し出し等に関する指標は町民1人当たりの貸し出し冊数10.55冊、町内登録率45.3%、実績貸し出し数1人当たり23.54冊となっています。

当図書館の研修で感じたことは、町民が本に出合う機会をいかにたくさん設定し、町民が図書館へ足を運ぶにはどうすれば効果があるか、あらゆる手段と方法について論議され、それが実行されている結果が全国的にも優秀な図書館運営となっていると強く感じました。

本町の図書館運営についても、町民ニーズを反映した蔵書の確保はもちろんのこと、まず図書館から、あらゆる情報を全ての町民に発信する図書館となることが本町が求める図書館の姿の参考となると思います。

次に、議会改革の一環として行うこととなりました関係団体との意見交換会についてです。

当委員会は、11月7日、日出町中央公民館において、町内小中学校、PTA役員との意見交換会を委員全員出席のもと開催いたしましたので、その御報告をいたします。

日出町全小学校5校、中学校3校より会長並びに副会長、母親代表の方々の出席をいただき、特別なテーマを設けることなくフリートーク形式として意見交換を行いました。大神小学校及び日出中学校より、通学道路の危険箇所についての指摘がなされましたので、PTAの皆さんには、できる限り危険箇所や課題箇所の地図化をお願いし、再度委員にて現地の確認を行い、関係機関へ要望することといたしました。また、防犯ブザーの所持についても調査の対象といたしました。

豊岡小学校からは、学校周辺の道路の整備は大変進んでおり、安全が確保されつつありますが、学校建設の折、プールの建てかえを行うとの説明があったと認識しているが、その後どのような状況になっているかとの質問が出されました。

給食センターの早期建設を望む意見や公園のごみ問題、暘谷公園の時計設置要望等々、各学校の要望や御質問を受けた案件については、委員会として現地調査の必要箇所は調査を行った上で意見集約を行い、関係部署への要望、また回答として上げていきたいと思っております。

また、中学校における学習で芸術に関する授業時間が少ないのではないかと、芸術を見せる場所として、学校の活用を行ってはとの意見や学校の2学期制の検証、それからこれから始まるコミュニティスクールにとって、校長や教頭の人事変化が早過ぎるのではとの不安等々、委員会として今回出された多様な意見等については真摯に捉え、内部で十分協議し、関係機関への提言や要望等を行ってまいりたいと思っております。

以上、閉会中の福祉文教常任委員会の報告といたします。

○議長（熊谷 健作君） 次に、予算常任委員長 白水昭義君。12番。

○予算常任委員長（白水 昭義君） 予算常任委員会の閉会中の審査について御報告申し上げます。

当委員会は、去る10月27日、委員会を開催いたしましたので、その概要を御報告いたします。

商工観光課より、銅像デザインの再検討の経過と寄附金の募金活動計画について報告を受けましたので、その内容について御報告いたします。

銅像デザインの再検討経過についてであります。

まず、この銅像の概要については、海を眺める回天搭乗員と見守る母と妹の像をモチーフにしたもので、また銅像のコンセプトとしては、当時の回天搭乗員の思い、またその家族の思いを銅像で表現するものとし、その回天大神訓練基地記念公園を訪れた方が、回天実物大模型と銅像を見学し、戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて感じてもらう、また戦争の正しい歴史認識を後世に伝えていくためのものであり、次に再検討経過及び今後の対応については、回天搭乗員とその家族をモデルにすることについては、おおむね製作者も町も一致しております。基本的にはこの方向で進めるとのことです。

また、搭乗員や家族の表現の仕方等は、基本的には製作者に任せたいとの意向であります。

なお、9月に見せてもらいました試作品は、あくまでも素案であり、これから細部にわたって検討する中で変わってくる可能性もあるとのことです。

次に、寄附金の募金活動計画については、予算額1,780万円に対し、年末までに3割程度の金額を集めたいと。現在の状況は、入金及び予約済みを含め300万円との報告がございました。

以上のように、執行部からこれまでの経過について説明を受ける中で、銅像のデザインについて委員から、回天公園にふさわしくないのでは、製作者と協議してほしいとか、もっと地元住民の意見を聞いてほしいと多くの意見要望が出されました。

執行部からは、議会の意見は十分に製作者に伝え、協議するが、芸術品なので難しい部分はあるかもしれないが、努力し、予算執行をすとのこととあります。

以上、簡単ではございますが、閉会中の予算常任委員会の報告といたします。（「白水さん、1,170万円」と呼ぶ者あり）何ぼち言うた。（「1,700万円て言った」と呼ぶ者あり）修正いたします。1,170万円でございます。済みません。

○議長（熊谷 健作君） 次に、議会改革特別委員会委員長 川西求一君。5番。

○議会改革特別委員長（川西 求一君） 議会改革特別委員会は、閉会中の10月7日及び10月23日に委員会を開催いたしましたので、その概要を報告いたします。

当委員会は、両日とも協議事項の優先課題として、日出町議会基本条例制定に向けての取り組

みとして、これまでの条例案に対して、学識者の方の意見や住民説明会での意見が出された内容等を反映した条文の検討及びそれに伴う委員会での読み合わせを主体として、12月議会制定を目途に審議を行ってまいりました。

また、毎年開催予定の各常任委員会による町民との意見交換会については、今回は各常任委員会に関する関係団体との意見交換会とすることを決し、その開催予定日や開催方法、関係団体については、各常任委員会において団体との調整を諮りながら行うことといたしまして、おのおの委員長から委員会への報告ということになりました。

以上、甚だ簡単ではありますが、閉会中の議会改革特別委員会の報告を終わります。

○議長（熊谷 健作君） 次に、議会報編集特別委員会委員長 森昭人君。11番。

○議会報編集特別委員長（森 昭人君） それでは、議会報編集特別委員会の報告を申し上げます。

当委員会は、閉会中の10月1日、7日の2回にわたり、委員会を開催をいたしまして、9月定例会の報告、主な内容といたしましては、平成26年度会計決算や一般会計補正予算、また議会基本条例、住民説明会の開催の報告であります。議会だより第102号の編集を行いまして、10月29日に全戸配付いたしましたところでございます。

なお、今回は委員会の行政視察等によりまして、閉会中の日程が過密の中で、原稿の締め切りを大幅に早めてということになりましたが、議員各位の御協力をいただきまして予定どおり発行することができましたこと、感謝申し上げます。また今後とも御協力をよろしく願います。

以上、甚だ簡単であります。議会報編集特別委員会の報告を終わります。

○議長（熊谷 健作君） 次に、議会運営委員会委員長 佐藤隆信君。13番。

○議会運営委員長（佐藤 隆信君） 議会運営委員会は、去る11月18日、委員全員が出席して、別府市議会へともに生きる条例の取り組みについて並びに議会の運営について、また由布市議会へ議会の運営について行政視察研修を行いましたので、その概要について報告いたします。

まず、別府市議会において、最初の研修項目である、ともに生きる条例、正式条例名称は「別府市障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例」であります。この条例の制定過程など、取り組み状況について学びました。条例制定の背景には、別府市の身体・知的・精神障がい者が合計で8,729人、人口比で7.2%であり、県平均を上回っていることから、別府市としては差別や偏見が依然としてなくなる。また生活のしづらさや不安を抱えている状況を鑑み、障害の有無にかかわらず、だれもが相互に人格と個性を尊重し、支え合う社会を目指すということを目的としたものであります。

市の内容は、障がいに対する理解を深める啓発活動や生活支援、雇用及ぶ就労、保健及び医療

など、支援体制を整備することや差別の事案を解決するための仕組み、専門相談員による窓口を設置して、相談に対応するなど盛り込まれています。親亡き後などの問題解決のための取り組みとして別府市親亡き後の問題解決検討委員会を設置して、総合的施策を提言しています。来年6月にその提言を市へ行うようになっていますが、ここで終わりではなく、地域の方の支援を重要になってくるので、親が任せられるようなサポーターをつくる、ライフステージに対応できるような支援員を養成できるかが今後の課題であると担当者からの説明でありました。

次に、2つ目の研修項目であります議会の運営についてですが、現議員は25名で、会派制を取り入れており、常任委員会は3委員会で任期は2年、また議会運営委員会は現在8名で任期は1年です。本会議の運営については、一般質問の通告締切日は議会開会前々日の正午までで、質問順は議員2名立ち合いのもと抽せんで行き、質問時間は答弁を含め1人60分、一問一答方式を取り入れており、同一議題については3回までとなっています。

また、答弁者については、基本的なものについて8割方課長が答弁、補足的なもの、行政判断を伴うものを部長が答弁をし、政治的部分については市長、副市長が答弁しています。

議案質疑については、所属委員会議案の質疑は極力行なわないことにしており、一般質問と同様に議案質疑通告書を提出し行うようになっていました。議会改革の主な実績としては、議員定数の削減、議会中継、政務活動費の見直し、一般視察旅費の減額、費用弁償の廃止、市民と議会との対話集会などでした。

続いて、午後から由布市議会を訪問し、研修を行いました。議員定数は現在19名、旧町別の議員定数で旧挾間町5名、庄内町6名、湯布院町8名となっています。任期については正副議長が申し合わせで2年、議会運営委員会、常任委員会ともに2年でした。常任委員会数は3委員会であり、議会運営委員会は7人で構成を、構成は常任委員長と旧町より1人ずつ委員会に入り、またオブザーバーとして正副議長が出席をしていました。

一般質問の通告期限は、原則として開会日の7日前に開催される議会運営委員会の前日正午までとなっています。質問方式では1回目は一括方式で、再質問以降は一問一答方式を導入しています。質問時間は答弁を含め60分です。また、議会中継について説明もいただき、本会議のライブ及び録画中継、インターネット中継の年間予算は431万円とのことです。

なお、由布市は3町が合併して10年が経過し、やっと新庁舎の建設などに取りかかるなど、これまでそれぞれの町の主張が強く出ていて、市議会運営においても大変な苦勞があったようです。

今回2つの市議会を訪問し、日出町議会の運営に際しても多いに学ぶべきものがありました。今後議員各位とともに、よいところは積極的に取り組んでまいりたいと思います。

以上、甚だ簡単ですが、議会運営委員会視察研修の報告といたします。

○議長（熊谷 健作君） 以上で、委員長報告を終わります。

質疑・討論・採決

○議長（熊谷 健作君） これより、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） なければ、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） なければ、これで討論を終わります。

お諮りします。ただいま報告のありました各常任委員会及び特別委員会における審査及び調査の件は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） 異議なしと認めます。したがって、各常任委員会、特別委員会における審査及び調査等の件は、委員長の報告のとおり決定しました。

日程第6. 承認第5号

日程第7. 議案第65号

日程第8. 議案第66号

日程第9. 議案第67号

日程第10. 議案第68号

日程第11. 議案第69号

日程第12. 議案第70号

日程第13. 議案第71号

日程第14. 議案第72号

日程第15. 議案第73号

日程第16. 議案第74号

日程第17. 議案第75号

日程第18. 議案第76号

日程第19. 議案第77号

日程第20. 議案第78号

日程第21. 議案第79号

日程第22. 議案第80号

日程第23. 議案第81号

日程第24. 同意第2号

提案理由の説明

○議長（熊谷 健作君） 日程第6、承認第5号平成27年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第1号）についてから、日程第24、同意第2号固定資産評価審査委員会委員の選任についてまでの承認1件、議案17件、同意1件を一括して上程し、議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。町長、工藤義見君。町長。

○町長（工藤 義見君） さっそくであります。提案理由の御説明を申し上げます。

本定例会に提案申し上げますのは、承認1件、議案17件、同意1件であります。以下、順次その概要を御説明申し上げます。

承認第5号平成27年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第1号）についてであります。

補正します額は26万円で、補正後の予算総額は2億8,654万4千円となります。補正します内容は被保険者の保険料還付金を追加補正するものであります。地方自治法第179条第1項の規定により専決処分いたしましたので、同条第3項の規定にもとづき議会に報告し、御承認を求めるものであります。

次に、議案第65号平成27年度日出町一般会計補正予算（第3号）についてであります。

補正します額は1億6,288万6千円で、補正後の予算総額は106億638万6千円となります。

歳出予算の主な内容につきまして御説明申し上げます。

まず、総務費では、町営駐車場の設置に伴う整備費を計上しております。

民生費では、障害者自立支援給付費や平成26年度補助事業の精算に伴う国庫補助金返納金などを追加計上しております。

また、農林水産業費、商工費では、地方創生先行型の上乗せ事業としまして、日出町特産品のブランド化推進と海洋観光を推し進めるため、「日出の幸」ブランド化推進事業費を計上しております。

土木費では、大神照川地区の急傾斜崩壊対策事業費や町道改良事業費等を追加計上しております。

今回の補正予算の財源としましては、地域活性化交付金など、国県支出金、地方債基金繰入金などにより財源措置しております。

次に、議案第66号平成27年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、国県支出金を財源に保険給付費を追加計上しております。

次に、議案第67号平成27年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）につきましては、汚泥処理施設費と幹線工事費で相互に予算の組み替えをしております。

次に、議案第68号平成27年度日出町介護保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、保険給付費等を追加計上しております。

次に、議案第69号平成27年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）につきましては、前年度決算に伴う繰越金を計上しております。

次に、議案第70号日出町営駐車場の設置及び管理に関する条例の制定についてであります。

公共交通機関の運行の円滑化を図るとともに、住民の利便に資するために新設する日出町営駐車場の設置及び管理について必要な事項を定めるため制定するものであります。

次に、議案第71号日出町自転車の放置の防止に関する条例の制定についてであります。

放置自転車の発生を防止し、良好な生活環境の確保を図るため制定するものであります。

次に、議案第72号日出町税条例等の一部改正についてであります。

地方税法及び地方税法施行規則等の改正に伴い、納税の猶予制度が整備されたことにより所要の改正を行うものであります。

次に、議案第73号日出町国民健康保険税条例の一部改正について、議案第76号日出町重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部改正について、議案第77号災害被害者に対する町税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正について及び議案第78号日出町介護保険条例の一部改正については、いずれも行政手続における特別の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部施行に伴い所要の改正を行うものであります。

次に、議案第74号幼稚園の設置に関する条例の一部改正についてであります。真那井幼稚園の廃園に伴い所要の改正を行うものであります。

次に、議案第75号議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正についてであります。

地方公務員災害補償法施行令の改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第79号日出町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正についてであります。

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に係るもの及び個人番号を独自に利用するため所要の改正を行うものであります。

次に、議案第80号日出町住民基本台帳カードの利用に関する条例の廃止についてであります。

住民基本台帳カードが廃止されることに伴い、条例を廃止するものであります。

次に、議案第81号工事委託に関する協定の締結についてであります。

日出町公共下水道日出町浄化センターの建設工事委託に関する協定その4を締結する必要がある
るので提出するものであります。

次に、同意第2号固定資産評価審査委員会委員の選任についてであります。

日出町固定資産評価審査委員会委員河野房雄氏の任期が平成28年2月24日で満了するため、
後任者として同氏を選任したいので提出するものであります。

以上、甚だ簡単であります。本定例会に御提案申し上げます議案につきまして、御説明申し
上げました。何とぞ、慎重な御審議を賜りまして、御賛同くださいますようお願い申し上げます。

以上であります。

○議長（熊谷 健作君） 提案理由の説明が終わりました。

散会の宣告

○議長（熊谷 健作君） 以上で本日の日程は全部終了しました。本日はこれで散会したいと思います
ます。これに御異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（熊谷 健作君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれで散会することに決定し
ました。

これで散会します。御苦労さまでした。

午前11時35分散会
